

令和4年度 指定管理者モニタリング報告書

施設名	加東市滝野交流保養館
施設所在地	加東市下滝野1283番地1
指定管理者	名称 加東市ふるさと振興協会／一般社団法人加東市観光協会 代表者 F氏／B氏 住所 加東市下滝野1283番地1／加東市河高4028番地
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握した。 次のとおり、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、モニタリングの「総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載した。
担当課	産業振興部 商工観光課 電話 0795-43-0530 担当者氏名 竹内 誠彦・小谷 寿輝

1 総合コメント

市外利用者の割合が高い施設であるが、コロナ前の水準まで利用者が回復せず、目標入浴者数144,000人に対して最終的な年間入浴者数は108,180人となり、対前年度比で111.7%と回復傾向にありつつも、対計画比では80.9%であった。その結果、利用料収入は計画未達となった。

経費抑制にも継続して取り組んでいる点は評価できるが、単年度収支が赤字であるため、健全な経営・運営が継続できるよう、利用料金改定を検討するなど経営改善、財務管理をしっかり行いつつ、今後とも利用者がより快適に過ごせるサービス提供を期待する。

2 今後の改善に向けた考え方

市内外の利用者数の増加に資する施策を検討し、実行いただきたい。  
まずは安定した経営・運営が継続できるよう、経営改善、財務管理を行い、黒字化への転換を図っていただきたい。

3 業務の履行状況について

協定書・仕様書で定められた項目について、適正に履行できている。

4 サービスの質について

利用者アンケートによると、職員の接客態度・事業内容の評価は良好であった。  
適切な施設管理とともに、利用者の満足度向上に努め、利用者の湯あたり等のトラブルにも適切かつ丁寧に対応できている。

## 5 収支状況等について

長期化したコロナ禍の影響により入浴者数及び入浴料収入が回復せず再び単年度赤字となった。営業時間、休館日の変更継続による経費削減、サービスポイント制度の改定、平均入浴料客単価の改善等、積極的経営改善に努めている点は評価できる。利用料金改定の検討など更なる経営改善、財務管理を行い、黒字化への転換を図っていただきたい。